

医療コミュニケーション

科目到達目標:

医療従事者として、患者や家族および他の医療職者との良好な人間関係を構築するために、必要な態度とコミュニケーションに関する基本的知識ならびに技能を習得する。

科目責任者(所属):藤原 由記子(基礎看護学), 深日連絡先:アレスコ棟1階 教員室107室 TEL 0859-38-6307 E-mail awanou@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/20(月)	1		・パターン1遠隔授業(資料・課題学習)	医療コミュニケーションとは何か	藤原 由記子	基礎看護学	コミュニケーションの目的や方法について基礎知識を習得できる	伝達、共感、共有、人間関係、感情、内省
2	4/27(月)	1		・パターン1遠隔授業(資料・課題学習)	コミュニケーション能力を進行性に失っていく患児への対応について	二宮 治明	生体制御学	双子の姉妹がニーマン・ピック病C型に罹患した一家の事例を学び、両親の対応に共感できるか否かを体験する。	ニーマン・ピック病C型、知的退行
3	5/7(木)	1		・パターン3遠隔授業(リアルタイム学習)	医療者として、患者・家族、医療者間でのコミュニケーション:何を、どう伝えるか? どう伝わるのか?	鈴木 康江	母性・小児 家族看護学	基本的なコミュニケーションマナーを踏まえ、患者・家族とのコミュニケーション、医療チームとのコミュニケーションスキルを習得する	マナー、態度、クッション言葉、指示受け、報告、連絡、相談、正確な情報伝達、家族、チーム医療
4	5/11(月)	1		・パターン3遠隔授業(リアルタイム学習)	コミュニケーションに困った時、困った人とのコミュニケーション	吉岡 伸一	地域・精神 看護学	医療現場におけるコミュニケーションの技術、要点、困った時や困った人との対処などについて、必要な技術・スキル・マインドについて理解し、実践できる。	コミュニケーション技術・マインド・スキル、ジョイニング
5	5/18(月)	1		・パターン3遠隔授業(リアルタイム学習)	なぜ実習で報告・相談を苦手に感じてしまうのか	藤原 由記子	基礎看護学	報告・連絡・相談を行う時の自己のコミュニケーションの特徴を振り返ることができる。自己の強みとなるコミュニケーション能力について述べるができる。	ジョハリの窓、アサーティブ、報告・相談に必要な準備
6	5/25(月)	1		・パターン3遠隔授業(リアルタイム学習)	コミュニケーションと倫理	大庭 桂子	成人・老人 看護学	医療者を目指す者として、臨床の場で、倫理的に行動するために必要な思考とコミュニケーションのあり方について、事例を通して考えることができる。	倫理、倫理原則、連携、コミュニケーション能力
7	6/8(月)	1	262	・対面授業	医療説明(疑似体験)	下廣 寿	病態検査学	医療従事者として検査結果を伝えるスキルを習得する。	検査結果、対話、シミュレーション
8	6/15(月)	1	262	・対面授業	医療従事者に必要なコミュニケーション	藤原 由記子	基礎看護学	医療従事者としてのコミュニケーションスキルについて考察し、自己の課題を具体的に見出すことができる	コミュニケーションの目的、自己の成長、医療従事者としての責任

教育グランドデザインとの関連:1,2,3,4,5,6,7

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

学位授与の方針との関連:1,2,3,4

授業のレベル:3

評価:各演習後レポート各演習後レポート 70% 全演習後レポート 30%

実務経験との関連:看護師、臨床検査技師、医師などの業務に携わった経験のある教員が、その経験を活かし、各人の専門分野に関する講義・演習を行う

教科書:各講義時に、プリントを配布する

統合実習

科目到達目標: 実践的学問である看護学の発展に寄与するための知識、実践、研究の繋がりを理解し、実践の中で研鑽していく基礎的な能力を高める

科目責任者: 看護学専攻主任

連絡先: Email bmharu9@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1～24	別途通知	別途通知	未定	・対面授業	学生は看護学専攻4講座のいずれかに所属し、統合実習を行なう。 所属講座の希望調査を行い、所属講座を決定する。 4年生前期から後期にかけて、各講座で準備しているプログラムにより実施する。	看護学専攻 教員	基礎看護学 成人・老人看護学 母性・小児 家族看護学 地域・精神 看護学	実践的学問である看護学の発展に寄与するための知識、実践、研究の繋がりを理解し、実践の中で研鑽していく基礎的な能力を高める	看護理論、生活援助技術、基礎看護技術、リハビリテーション、運動機能、生命倫理、遺伝 知識・技能・態度等の総合的活用、現象、論理的 分析・理解、課題の明確化と課題解決能力の育成 フィジカルアセスメント、基本的看護技術、プレパ レーション、健康教育、助産学と研究、助産活動と 健康教育、助産活動と公衆衛生 ヘルスプロモーション、生活者、地域住民の健康 課題解決、個人・家族への個別的支援、サービス 提供体制、社会基盤整備

教育グランドデザインとの関連: 2、3、4、5、6、7

※授業目的・目標を達成するために自己学習が必要です。内容は別途具体的に提示します。

学位授与の方針との関連: 1、2、3、4

授業のレベル: 4

評価: 評価表に沿って到達目標の達成度、学習への参画状況などにより総合的に評価する。

実務経験との関連: 看護師としての実践経験のある教員が、臨床判断とそれに基づく看護実践について学生の思考と実践を支援する。

その他: 看護学生の臨床実習用損害賠償保険に加入しなければ受講できない

看護学課題研究

科目到達目標: 具体的な看護実践への課題や専門職としての責務や役割についての課題を見出し、看護実践に対する創造性の追求、看護学の発展の追求、看護専門職としての社会的責務という観点からの専門性の追及を行う。さらに、看護実践によってもたらされた現象や反応を客観的に捉え、科学的に追求し、論理的

科目責任者: 看護学専攻主任

連絡先: Email bmharu9@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業方法	授業内容	担当者	分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1～24	別途			・対面授業	学生は看護学専攻4講座のいずれかに所属し、統合実習を行なう。 所属講座の希望調査を行い、所属講座を決定する。 4年生前期から後期にかけて、各講座で準備しているプログラムにより実施する。	看護学専攻 教員	基礎看護学 成人・老人看護学 母性・小児家族看護学 地域・精神看護学	具体的な看護実践への課題や専門職としての責務や役割についての課題を見出し、看護実践に対する創造性の追求、看護学の発展の追求、看護専門職としての社会的責務という観点からの専門性の追及を行う。 さらに、看護実践によってもたらされた現象や反応を客観的に捉え、科学的に追求し、論理的に論述する能力を高める。	看護理論、生活援助技術、基礎看護技術、リハビリテーション、運動機能、生命倫理、遺伝 知識・技能・態度等の総合的活用、現象、論理的分析・理解、課題の明確化と課題解決能力の育成 フィジカルアセスメント、基本的看護技術、プレパレーション、小児の健康教育、助産学と研究、助産活動と健康教育、助産活動と公衆衛生 ヘルスプロモーション、生活者、地域住民の健康課題解決、個人・家族への個別的支援、サービス提供体制、社会基盤整備

教育グランドデザインとの関連: 2、3、4、5、6、7

※授業目的・目標を達成するために自己学習が必要です。内容は別途具体的に提示します。

学位授与の方針との関連: 1、2、3、4

授業のレベル: 4

評価: 評価表に沿って到達目標の達成度、学習への参画状況などにより総合的に評価する。

実務経験との関連: 看護師、または医師として実践経験を持つ教員が、各自の専門分野に関する研究指導を行う。

参考書: 別途提示する。

助産業務管理実習

科目到達目標:助産施設での助産管理の実際を知り,実践できる.

科目責任者(所属): 鈴木 康江(母性・小児家族看護学) 連絡先:38-6326(内線:6326)、ysuzuki@tottori-u.ac.jp, アレスコ棟306研究室

回数	月日	時限	授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1週	別途指定	別途指定	・対面授業	*(医学部附属病院3A病棟) (鳥取県立中央病院) (山陰労災病院) (母と子の長田産科婦人科クリニック) (ミオ・ファティティクリニック) で実施する。	鈴木 康江 大谷 多賀子 大島 麻美 佐々木 くみ子	母性・小児家族看護学	各科目の到達目標は、別刷りの「臨床実習マニュアル」に記載しているので、参照されたい。	助産管理 地域周産期医療 周産期システム 産科補償制度 医療法等の法制 と助産管理 災害・危機管理

教育グランドデザインとの関連:1、2、4、5、6、7

※実習施設の変更あり

学位授与の方針との関連:1、2、3、4

詳細はmanabaに掲載

授業のレベル:記入ください。

評価:実習記録, 実習に対する態度等添付の評価表に基づいて評価する。

実務経験との関連:助産実践の経験を踏まえた指導をする(アドバンス助産師)

指定教科書:看護学専攻 実習共有ガイダンス, 実習要項, 助産実習要項(鳥取大学医学部保健学科編)

その他:無断欠席、遅刻は、厳に慎むこと。

実習時間については、教員連絡会で具体的に説明いたします。

到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

担当者は変更する場合がある。

助産学実習

科目到達目標:助産介助等助産師として必要な診断能力や技術を実習し、修得できる

科目責任者(所属): 鈴木 康江(母性・小児家族看護学) 連絡先:38-6326(内線:6326)、ysuzuki@tottori-u.ac.jp,
アレスコ棟306研究室

回数	月日	時限	講義室	授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療	到達目標	授業のキーワード
10週	別途指定	別途指定		・対面授業	* (医学部附属病院3A病棟) (鳥取県立中央病院) (山陰労災病院) (母と子の長田産科婦人科クリニック) (ミオ・ファティティクリニック) を利用して実施する。	鈴木 康江 大谷 多賀子 大島 麻美 佐々木 くみ子	母性・小児 家族看護学	各科目の到達目標は、別刷りの「臨床実習マニュアル」に記載しているので、参照されたい。	助産診断 助産過程 保健指導 妊婦健診 分娩介助 間接介助 新生児ケア 産褥期ケア 退院指導 家族計画指導 継続事例

教育グランドデザインとの関連:1、2、4、5、6、7

※実習施設の変更あり、詳細はmanabaに掲載

学位授与の方針との関連:1、2、3、4

授業のレベル:3

評価:実習記録, 実習に対する態度等添付の評価表に基づいて評価する。

実務経験との関連:助産実践の経験を踏まえた指導をする(アドバンス助産師)

指定教科書:看護学専攻 実習共有ガイダンス, 実習要項, 助産実習要項(鳥取大学医学部保健学科編)

その他:無断欠席は厳に慎むこと。

担当者は変更する場合がある。

到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

実習時間については、教員連絡会で具体的に説明いたします。

助産学実習を履修するためには、4年生前期科目(必修科目)の履修を全て修得(見込み可)できていること